

6月の保育（〇ねらいと担任の思い）

<4歳児 りす組>

幼小合同運動会を経験し、思い切り走ったり音楽やリズムに合わせて体を動かしたりすること、教師や友達と一緒に活動することを楽しむ姿が見られるようになりました。運動会の余韻を楽しみながら、引き続き体を動かしたりみんなで一緒に動いたりする活動を取り入れていきます。

園庭では、砂場で型抜きのごちそうや山作り、水を使った遊びなどを楽しんでいます。教師も仲間となって一緒に遊ぶ中で、砂や泥、水の感触の楽しさを言葉で表したり、面白さや不思議さに共感したりして関わっています。水で遊ぶ経験はプール遊びにつなげていき、この時期ならではの遊びを十分に楽しめるようにしていきます。雨の日や暑い日も増えてくるため、安全、健康に過ごせるよう、園内での生活の仕方や約束を改めて確認するとともに、年少児なりに意識をもって過ごせるよう丁寧に指導していきます。

栽培物の生長や保育室で飼育しているチョウの姿の変化など、自然に目を向ける機会も増えてきました。一人ひとりの気付きや眩きを温かく受け止めながら、興味・関心を支えていきます。

〇友達に親しみをもって関わり、同じように動いたり、触れ合って過ごしたりすることを楽しむ。

〇幼稚園生活における遊びや生活の約束が分かるようになる。

（遊具や用具の扱い、片付け、雨の日の安全な過ごし方など）

〇栽培物の生長や生き物の姿に関心をもち、教師や友達と一緒に世話をしたり、大切に扱おうとしたりする。

<5歳児 はと組>

5月には、合同運動会に向けて、りす組をリードしながら力を出そうと頑張りました。麻布図書館のおはなし会の後には、読んでいただいた絵本からイメージを膨らませ、お店屋さんごっこを楽しむ姿も見られました。中型積み木の扱いにも大分慣れ、みんなが入れるような大きなお家を建て、その中でお弁当を食べることも楽しんでいました。6月からは、大型積み木を使い始めます。重たい積み木なので、安全に遊ぶための約束をしっかり守ることが必要ですが、その分、ダイナミックな場作りが楽しめます。「私はこんなお家にしたい」「大きな積み木を運びたいから手伝って！」など、自分のしたいことや、相手にしてほしいことなどを伝え合いながら、友達と一緒に遊びを進めていく楽しさを感じられるようにしていきます。

後半には、本村まつりがあります。今年度は、はと組が中心となってみんなで1つのゲーム屋を作ります。「こんなゲーム屋さんだったら楽しいな」「こんなふう遊ぶのはどう？」など、自分なりにアイデアを出し、それが受け止められる喜びを感じながら、友達と一緒に作り進めていく楽しさを感じられるようにしていきます。まつり当日には、ゲーム屋さんの係もします。たくさんの人に遊んでもらい、楽しんでもらうことが、満足感につながるでしょう。

4月にみかんの葉についていた蝶の幼虫が、サナギになりました。羽化を楽しみに、毎日様子を見ています。夏野菜の水遣りも続けています。関心を向け続けることで、気付きや発見がたくさんあります。言葉や動きで伝え、認められるうれしさを感じられるようにします。

〇互いに思いや考えを伝え合いながら、友達と一緒に遊びを進めることを楽しむ。

〇共通の目的に向かって、友達と一緒に活動を進めていく楽しさや、やり遂げた満足感を感じる。

〇変化や生長を楽しみにしながら身近な生き物や栽培物の様子を見たり、世話をしたりする。気付いたことを教師や友達に伝え、受け止められる喜びを感じる。